

二酸化炭素排出実質ゼロを目指します！

市では、豊かな自然環境を守り、安全に安心して暮らせるまちを未来を担う次世代に引き継いでいくため、市民、事業者との協働により地球温暖化対策を進め、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

ゼロカーボンシティとは…

地球上の温室効果ガスの排出量と吸収量を差し引きし、実質ゼロにすることを「カーボンニュートラル」といいます。この「カーボンニュートラル」を2050年までに目指すことを公表した自治体のことを「ゼロカーボンシティ」といいます。



ゼロカーボンシティへの挑戦を宣言する佐々木市長

カーボンニュートラル



市が現在行っている取り組み

- ▷五所川原市環境保全率先行動計画に基づく温室効果ガス排出量の削減
- ▷市内全域の防犯灯のLED化
- ▷市公共施設における地球環境への負担軽減(太陽光発電システム・LED照明器具・地中熱利用システム)
- ▷稲わら活用Win-Winモデル事業による一時的な二酸化炭素排出量の抑制

市では、まず身近なところから二酸化炭素の排出量を減らす取り組みを行っていますが、今後は2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す計画を策定し、さらなる取り組みを進めていきます。

ゼロカーボンシティの実現に向けては、私たち一人ひとりが環境への意識を持ち、日々の生活の中で着実に行動することが大切です。最初は小さな一歩でも身近なことから地道に取り組むことで大きな成果につながります。

地球温暖化防止に向けた取り組みについて、ご理解とご協力をお願いします。

5ページでは、自宅でもできる取り組みについて紹介しています。

6月は「環境月間」「家庭ごみリサイクル推進月間」です

6月の環境月間に合わせて、市では6月1日から30日までを家庭ごみリサイクル推進月間とします。改めて、家庭内でのごみについて、考えてみましょう。

生ごみを減らそう！『3つの「きる』』

家庭から排出されるごみの中で最も多いのが「生ごみ」です。食品ロスや水分を多く含んだ生ごみは、3つの「きる」運動に取り組むことで、削減することができます。

1つ目の「きる」

食材は使いきる！

- ▷食材は無駄なく使う！
- ▷買い物の前に冷蔵庫を確認して、同じものを買わない！



3つ目の「きる」

生ごみは水気をきる！

- ▷生ごみを出すときは、水気をきりましょう！
- ▷生ごみの約8割は水分といわれています。
- ▷水きりをするので、生ごみの量を減らすことができ、ごみ焼却施設の焼却効果が上がり、二酸化炭素排出量や経費削減につながります。



2つ目の「きる」

料理は食べきる！

- ▷料理は残さず、おいしく食べきりましょう！

捨てればごみ、分けると資源！

「プラスチック類リサイクル」って何？



プラスチック類リサイクルには、次のものがあるよ！

- ▷袋類(レジ袋、お菓子等の袋など)
- ▷トレイ・カップ類(卵のパック、惣菜の容器など)
- ▷ボトル類(洗剤、調味料の容器など)
- ▷その他(おもちゃ、CD、ビデオテープ、筆記用具、発泡スチロール、ポリバケツ)



収集したプラスチック類は、プラスチック類処理施設で処理後、再商品化施設に送られ、新たな製品となります。

プラスチック類処理施設では手作業により選別を行っています。刃物などの金属類は作業員のけがや事故につながるため、取り除いてから出すようお願いいたします。

プラスチック類処理施設の作業の様子について、ごしょりんと一緒に見学することができます。右記QRコードのほか、市ホームページからご覧ください。



ごみの分別については、市ホームページのほか、LINE公式アカウントでも確認できます！

五所川原市
ごみ分別辞典



五所川原市LINE
公式アカウント



4～5ページの問い合わせ先…環境対策課 内線2364